

令和5年度 学校評価 目標設定

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>・自立と社会参加を目指し、キャリア教育の視点で小学部から高等部まで連続性・一貫性のある教育課程を編成し実践・評価・改善を図る。</p> <p>・ICT機器等の有効活用を推進し、専門性の高い教育活動を実践する。</p>	<p>①教育課程と連携した児童・生徒指導について、検討と実践を行うことにより、児童生徒が主体的に地域へかかわり、貢献する力を育てる。</p> <p>②児童生徒の経験の幅が広がるICT機器を活用した教育活動を継続し、内容を校外に発信することにより、教育活動の充実を図る。</p>	<p>①年間指導計画に「外部資源の活用」を項目として位置づけることで、地域へのかかわりを意識した授業実践を計画的に行う。</p> <p>②オンラインでの交流や共同学習、日々積み上げてきたICT機器を活用した授業について、文書やHP、授業参観等による紹介を行い、活動の様子を校外に発信する。</p>	<p>①教育課程と連携した児童・生徒指導について、検討と実践を行うことにより、児童生徒が主体的に地域へかかわり、貢献する力を育てることができたか。</p> <p>②児童生徒の経験の幅が広がるICT機器を活用した教育活動を校外に発信し、教育活動の充実を図ることができたか。</p>
2	児童・生徒指導・支援	<p>・児童・生徒一人ひとりのニーズに応じた個別の指導と集団の指導両方を関連付けた授業実践、児童・生徒支援・教育相談を組織的に行う。</p>	<p>①-1「わかった！できた！」につながる具体的な支援の手立てを作成し、支援教育を実践する。</p> <p>①-2通学支援について、成長段階に合わせて児童生徒が自立と社会参加をめざす視点で支援を実践する。</p>	<p>①-1 専門職と連携しての授業実践や、体験型の研修会を計画、実施し、児童生徒が意欲的に取り組み、成果を実感できる授業を実践する。</p> <p>①-2 各学部における通学支援について校内で考え方を共有し、理解を深めるとともに、関係機関と協力し、安心安全な通学に必要な環境を整えて実施につなげる。</p>	<p>①-1「わかった！できた！」につながる具体的な支援の手立てを作成し、支援教育を実践することができたか。</p> <p>①-2通学支援について、成長段階に合わせて児童生徒が自立と社会参加をめざす視点で支援を実践することができたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>・一人ひとりの発達の段階に応じた進路指導・支援を行い、将来の自立と社会参加を実現するために必要な力を育成する。</p>	<p>①-1 指導の実践により積み重ねてきたネットワークを生かし、近隣の学校や地域の方が進路指導について理解を深めることにつなげる。</p> <p>①-2 保護者・教職員へ進路に関する知識や情報を積極的に発信し、よりよい進路指導につなげる。</p>	<p>①-1 障害者を雇用している企業の協力により、地域の保護者向けに、支援学校の学びと子どもの社会参加について考える機会「企業と語ろう」を開催する。</p> <p>①-2 小中学部の保護者向けに授業参観等とあわせて進路学習会を設定し、今の学びと将来の自立に向けての関連性を説明する。</p>	<p>①-1 指導の実践により積み重ねてきたネットワークを生かし、近隣の学校や地域の方が進路指導についての理解を深めることができたか。</p> <p>①-2 保護者・教職員へ進路に関する知識や情報を積極的に発信し、よりよい進路指導につなげることができたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<p>・共生社会の実現に向け、学校と地域住民との協働による活動を展開する。</p>	<p>①-1 地域の方や大学等と協働の活動を展開することにより、児童生徒が地域に関心を持って参加できる授業を充実させる。</p> <p>①-2 支援を必要とする地域の子どもに必要な情報をまとめて、保護者等へ提供することにより、地域に根付いた学習環境を作る。</p>	<p>①-1 近隣施設の清掃や、製品販売、作品展示等を通じて、近隣地域の方とかかわりのある活動を行う。近隣の大学や自治会と協働してイベントを実施する。</p> <p>①-2 支援の必要な子どもの教育に関わる福祉や行政の地域機関マップを作成し、本校及び学校コンサルテーションに関わる学校等の情報提供を行う。</p>	<p>①-1 地域の方や大学等と協働の活動を展開することにより、児童生徒が地域に関心を持って参加できる授業を充実させることができたか。</p> <p>①-2 支援を必要とする地域の子どもに必要な情報をまとめて、保護者等へ提供することにより、地域に根付いた学習環境を作ることができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>・教職員の人格的資質・専門性の向上を図る。</p> <p>・生徒と向き合う時間を確保するために、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</p>	<p>①「丁寧なかかわりのスタンダード」の充実に向けての取り組みと、不祥事防止点検を計画的に行い、職員の人格的資質、専門性の向上を図る。</p> <p>②業務改善につながる提案を実現し、業務負担軽減を図る。</p>	<p>①「丁寧なかかわりのスタンダード」の実践について、各学部等から職員会議等で事例報告を通年で行い共有し、内容の充実に図る。</p> <p>②業務の決裁権の委譲を行い、起案文書の速やかな処理を図る。削減できる業務について確認し、実現していく。</p>	<p>①「丁寧なかかわりのスタンダード」の実践検証と、不祥事防止点検を計画的に行い、職員の人格的資質、専門性の向上を図ることができたか。</p> <p>②業務改善につながる提案を実現し、業務負担軽減を図ることができたか。</p>